

第2期アクションプランの振り返り

第2期アクションプランの振り返り

フェーズ1 知る・理解を深める

基本施策	結果	調査	調査結果
行政・生活情報の多言語化	改善	区民意識調査	外国人の「行政・地域情報を得ていない」と回答する割合が22.9%→19.6%に低下
多文化共生の意識醸成	改善	区民意識調査	「多文化共生」という言葉に対する日本人・外国人の認知度「聞いたことがあり、意味も理解している」と回答する割合が43.5%→49.0%に上昇
外国人住民の暮らしを支える体制づくり 〔基盤づくり〕	横ばい	横浜市外国人意識調査	「生活の満足度」について、外国人が「満足」、「やや満足」と回答する割合は71.2%→70.5%
日本語習得への支援	横ばい	横浜市外国人意識調査	「生活の困りごと」について、外国人が「日本語の不自由さに困っている」と回答する割合は27.9%→28.4%

第2期アクションプランの振り返り

フェーズ2 交流する・助け合う

基本施策	結果	調査	調査結果
日本人と外国人の交流の充実	課題あり	区民意識調査	「外国人との交流状況」に関して日本人が「付き合いがない」と回答する割合が42.8%→54.4%に上昇
外国人住民の暮らしを支える体制づくり 〔定住への支援〕	改善	区民意識調査	中区での暮らしについて、外国人が「これからも中区で暮らしていきたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答する割合が85.5%→91.2%に上昇
自分らしくいられる場づくり	－	区民意識調査	中区での暮らしについて、外国人が「自宅以外で安心していられる場所はある。」と回答する割合は41.2%

フェーズ3 つなぐ・広げる

基本施策	結果		アンケート結果
地域活動への参加促進	改善	横浜市 外国人意識調査	「自治会町内会の加入状況」について、外国人が「加入している」と回答する割合が22.9%→26.4%に上昇
次世代の担い手となる人材の育成	横ばい	ラウンジ報告書	「にじいろ探検隊」による地域活動の件数は7件→6件

第2期アクションプランの振り返り

振り返り結果から

計9個の施策のうち改善は4、課題有が1、横ばい・その他が4

フェーズ1 「知る・理解を深める」の施策の半分は改善

→目標1 「基礎的な支援の充実」の実現には一定の成果あり

フェーズ2 「交流する・助け合う」の「日本人と外国人の交流状況」は指標値に低下が見られた→日本人・外国人の交流は多文化理解において不可欠であり、3期ではより一層の取組が求められる